

梅の消費拡大案及び医療費削減案について

【内容】

今、全国中で熱中症の被害が懸念されているときに、メディア等で「熱中症予防には、梅干しの摂取が良い」と報道しております。また、連日海水浴場などでは、日に何人かが熱中症になっております。他府県などの観光客や地元の方々に、この機会に梅干しの摂取を呼びかければ消費につながり、医療費の削減につながると思います。

PR方法…梅の振興会会員、農協職員、田辺市職員、各農家、各業者などの車（およそ一万台ぐらい）に「熱中対策に梅干」などのシール張り、啓発活動をし、併せて地元開催のスポーツイベントなどに梅干しを提供し熱中症予防を啓発すれば、間違いなく消費拡大が低コストで計れるとご提案申し上げます。観光客が田辺インターを降り、目にする車に対策シールが街中走っていれば絶大なPRになるのではないのでしょうか。

【回答】

梅の効能や成分の機能性、夏バテや暑さ対策に梅が良いということは、毎年各地で開催している梅講習会やマスコミなど各方面へも情報提供に努めているところであります。

また、10月には、東京において、県と紀州梅の会で「梅の効能シンポジウム」を開催する計画です。

県外や地元等での観光イベントやスポーツ行事等においても出来るだけ梅干しを配布するなどPRに努めています。

ご提案の熱中症対策に梅干しをPRすることは妙案と考えています。熱中症への医学的根拠やこれを基にどういうPRの仕方が適当で効果的なのか、また、田辺周辺広域の関係団体全体で取り組むべき問題でもありますので、近々、紀州梅の会と県の梅の会議でも取組を提案し協議したいと考えています。

(担当：梅振興室)